

ANAインターコンチネンタルホテル東京

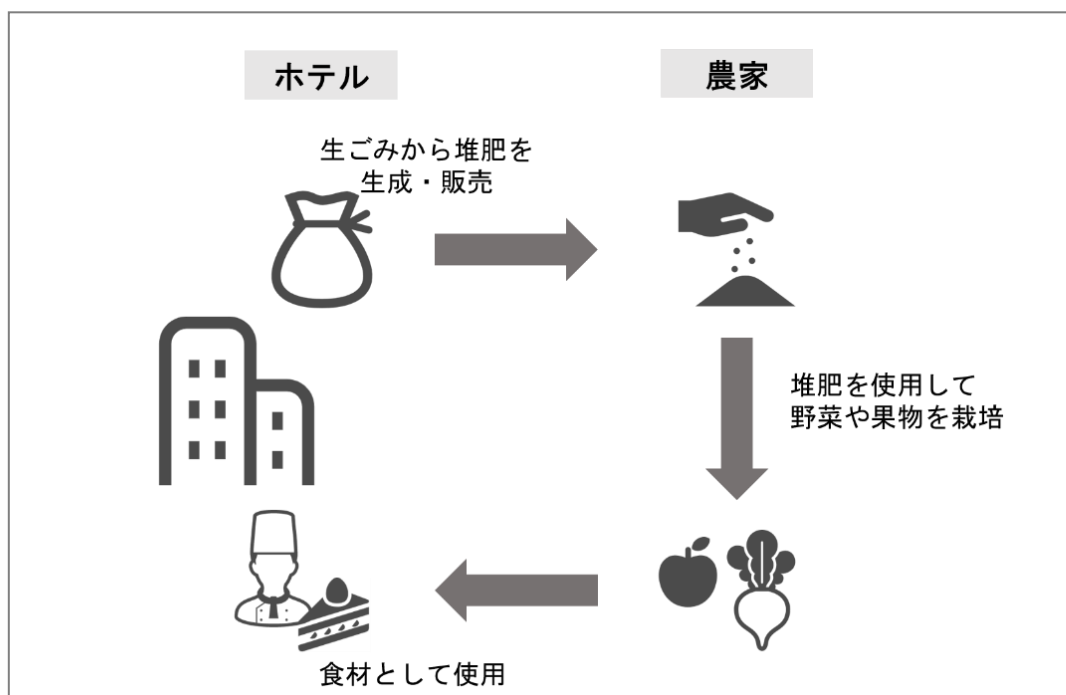
## 生ごみの堆肥化と食資源循環の取り組みを開始

### 堆肥を使って栽培された野菜や果物をホテルの食材に取り入れる計画も

ANAインターコンチネンタルホテル東京【英語表記:ANA InterContinental Tokyo／東京都港区赤坂／総支配人ミシェル・シェルトー】は、本年4月1日より、館内に設置した堆肥製造装置で生ごみの堆肥化を行うと同時に、装置の製造会社である株式会社有機醗酵の協力のもと、生成した堆肥を農家に販売する取り組みを開始します。将来的には、この堆肥を使って栽培された野菜や果物をホテルの食材として取り入れ、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の取り組みの一つとして、食資源の循環につなげていく計画です。

堆肥製造装置「エコ・ポスト®」は、食品残さや肉、魚、野菜くずなどの生ごみを攪拌しながら24時間で分解、発酵させ、約5分の1の量の堆肥を生成します。当ホテルでは2019年の平均で1日あたり約1,000kgの生ごみが発生しており、同装置を自社内に持つことで、大幅なごみの排出量削減が実現することから、同装置での堆肥の生成を昨年5月から試験的に導入し、装置に生ごみの投入を行う各部門スタッフに対して、正しいごみの分別手順を周知し日々経験を重ねることで、より一層良質な堆肥が生成されるよう段階的に進めてきました。実際生成した堆肥の品質については、試作段階での提携先(農家)から高い評価を得ることができたため、この度正式に食資源循環の取り組みを開始し、安定した品質で販売していけることを目指しています。

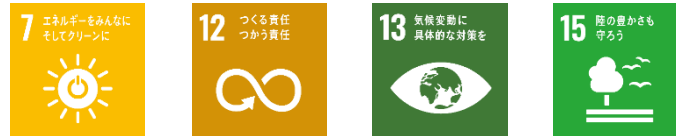
当ホテルでは、1986年の開業当初から、環境保全の取り組みを積極的に進めてきました。代表的なものに、厨房排水にバイオ処理を行いトイレの洗浄水として再利用する中水システムや、客室内での人感センサーによる照明と空調のコントロールシステムなどがあります。2009年以降は、世界のIHG(インターコンチネンタルホテルズグループ)で導入したサステナビリティ管理システム「IHG グリーン・エンゲージ」の活用により、各ホテルにおける電気やガス、水の使用量、廃棄物や二酸化炭素の排出量を継続的に監視・制御し、エネルギー消費の削減に役立っています。今後も、持続可能な社会の実現に向け、環境への配慮に責任を持ち、人と自然に優しいホテルを目指していきます。食資源循環の活動を含む、当ホテルのSDGsの取り組みの詳細は次頁のとおりです。



ANAインターコンチネンタルホテル東京が目指す食資源循環の図

## ANAインターコンチネンタルホテル東京のSDGs(持続可能な開発目標)の取り組み

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ANAインターコンチネンタルホテル東京では、総合型ホテルとしての社会的責任を経営の重要課題の一つと位置づけ、1986年の開業当初より、環境保全の取り組みを積極的に進めてまいりました。

今後も、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)を支援し、特に大規模ホテルとして消費量の大きい資源とエネルギーの有効活用を中心に、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

#### ■資源・エネルギーの再利用

- 水の再利用(中水処理/2002年導入)  
厨房排水や雑排水、雨水、プールの水などをバイオ処理システムにて再生し、トイレの洗浄水に再利用しています。
- 食器洗浄機の蒸気熱の再利用(2019年導入)  
大型レストランの厨房の食器洗浄機で洗浄の際に発生する蒸気熱を回収し、その熱エネルギーを利用して洗浄すぎ用のお湯を造っています。
- 食資源循環の活動(2020年から試験的に導入、2021年4月正式に開始)  
館内に設置した堆肥製造装置で生ごみを分解・発酵・堆肥化し、生ごみの排出量を削減しています。さらに生成した堆肥を農家に販売し、今後その堆肥を使って栽培された野菜や果物をホテルの食材として取り入れることで、食資源の循環につなげていきます。

#### ■エネルギー消費の削減

- 省エネルギー空調システム「ビル・エネルギー・マネジメント・システム(BEMS)」の導入(2002年導入)  
ANAホテルズ独自のアプリケーション(当時)を搭載したシステムを全館導入し、最小限のエネルギーで最適な室温を確保する空調コントロールを実現しました。これにより当ホテルは京都議定書による削減目標である1990年度比マイナス6%のエネルギー量を2003年度にマイナス13.8%まで削減しました。
- 遮熱フィルム(2002年導入)  
全客室の窓ガラスに遮熱フィルムを貼り、冷暖房効率の向上を図っています。
- IHG グリーン・エンゲージ(2009年より世界のグループホテルで導入)  
世界中のグループホテルで環境に配慮したホテル運営を支援するオンラインシステムで、各ホテルのエネルギーおよび水の消費量、二酸化炭素排出量、廃棄物管理の状況を把握し、エネルギー消費の削減に役立てています。このシステムのもうひとつの特色である「グリーン・ソリューション(Green Solutions)」は、ホテルが生み出す環境負荷の抑制に役立つ200以上の具体策を案内する機能です。
- 照明のLED化(2017年より順次導入)  
客室・厨房・バックエリアの照明を全面的にLED照明に切り替え、室温上昇を抑えることで、空調のための電力消費を削減しています。
- プラスチックストローの使用廃止(2018年)  
客室・レストラン・宴会場において使い捨てプラスチックストローの使用を廃止し、プラスチックごみを削減しています。
- その他、客室内での取り組み
  - ・ 人感センサーを全客室(844室)に設置し、不在室をセンサーが感知して空調・照明を自動的に消しています。
  - ・ 連泊のお客様にシーツ・タオルの再利用を呼びかけ、クリーニング量を減らし、水の節約や洗剤による水質汚染の減少を図っています。2019年度は、2016年比(3年前比)で再利用の比率が約10%向上しました。



## — ホテル概要

### ■ANAインターコンチネンタルホテル東京 ANA InterContinental Tokyo

【施設規模】 地上 37 階／客室数 844 室／12 のレストラン&バー／大小 22 の宴会場

1986 年、森ビル株式会社(民間)による日本初の大規模都市再開発事業で、24 時間活動する職住複合型都市という新しい都市のあり方を示したことで注目を浴びた「アークヒルズ」(ARK Hills)の誕生とともに、その一角を担う存在として、ANAホテルズのフラッグシップホテル「東京全日空ホテル」(旧名称)が産声を上げました。

国内外の人や文化が行き交い、様々な国籍の人が暮らし、世界を代表する企業が集積するアークヒルズ固有の環境のもと、ホテルとしても『新しき、ホテル・ソサエティ。』をキャッチフレーズに、当時は珍しかった天井が高く広々とした吹き抜けの「アトリウムロビー」を創造するなど、ホテルのあり方に新風を吹き込み、人々が自然に集まってくるプラザ的な場所、そして様々な人々や文化のクロスポイントとなるようなホテル空間を標榜してまいりました。

その後、東京全日空ホテルは、全日本空輸株式会社と世界最大級のグローバルホテルチェーン「インターコンチネンタルホテルズグループ(IHG)」【本社:英国】とのホテル運営事業における包括的業務提携によって、2007 年 4 月 1 日、ホテルの正式名称を「ANAインターコンチネンタルホテル東京」(英語表記: ANA InterContinental Tokyo)に変更し、日本の「ANAホテルズグループ」と世界の「インターコンチネンタルホテルズグループ」のそれぞれのブランドの強みを融合した共同ブランドのフラッグシップホテルとして船出しました。これは、国際都市「東京」におけるホテル競争激化を見据えて新たに踏み出した第一歩でした。

リブランド後は、グローバル社会へと急速に進む時代の変化やニーズを敏感にとらえながら進化を続け、ANAグループとして培ってきた日本のおもてなしの心が生む上質のホスピタリティと国際水準のサービスが調和するインターナショナルホテルへと成長し、2021 年 6 月 7 日、ホテル開業 35 周年を迎えようとしています。

#### 【ご予約・お問い合わせ】

ANAインターコンチネンタルホテル東京 TEL.03-3505-1111(代表)

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-12-33 <https://anaintercontinental-tokyo.jp>

<アクセス>東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王」駅下車徒歩約 5 分

### ■インターコンチネンタル® ホテルズ&リゾート InterContinental Hotels & Resorts

インターコンチネンタル ホテルズ&リゾートは、70 年を超える歴史で得た知識を活かし、その土地ならではの魅力を体験できる旅を提供。いずれのホテルでも、インターコンチネンタルならではの優雅な旅をお楽しみいただけます。インターコンチネンタルは、さりげない心遣いが感じられる上質なサービスと充実したアメニティを通した、グローバルで洗練された旅を実現します。お客様ひとりひとりに合わせたきめ細かなサービスによる心のこもったおもてなしで、他にはない優雅で心地よいご滞在をご満喫いただけます。また、インターコンチネンタル アンバサダープログラムと最上級の特典が付いたクラブインターコンチネンタルを通して、大切なお客様に特別なサービスをお届けします。旅慣れたお客様のご滞在が豊かで発見に満ちたものとなるよう、ほかでは味わえない特別な体験など、その土地ならではの魅力をご紹介します。

インターコンチネンタルブランドサイト: [www.intercontinental.com](http://www.intercontinental.com)

以上

プレスリリース常時公開中 <https://anaintercontinental-tokyo.jp/press-release/>

#### 【プレスリリースに関するお問い合わせ】

ANAインターコンチネンタルホテル東京 広報担当 山下・森

TEL. 03-3505-1698/FAX 03-3505-3110 E-mail: [sayaka.yamashita@anaintercontinental-tokyo.jp](mailto:sayaka.yamashita@anaintercontinental-tokyo.jp)